

第51回 環境安全委員会 資料1

東京PCB処理事業所 2024年度上期の処理・設備保全の状況 及び今後の処理見通し

2024年12月2日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社
東京PCB処理事業所

目次

0. 2024年度上期の処理状況及び今後の処理見通し(概要)	・・・ 3
1. 2024年度上期の処理状況	・・・ 4
2. これまでの処理実績と今後の処理計画	・・・ 8
3. PCB廃棄物の搬入・搬出	・・・ 1 2
4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果	・・・ 1 5
5. 作業従事者の労働安全衛生について	・・・ 2 6
6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応	・・・ 2 8
7. 教育・訓練等の実施状況	・・・ 3 1
8. 施設見学の状況	・・・ 3 3
9. 設備保全の実施状況及び予定	・・・ 3 4

0. 2024年度上期の処理状況及び今後の見通し(概要)

事業終了準備期間の末日(2026年3月末)をもってPCB処理が終了。

現在、新たに発見されたPCB廃棄物の処理を実施中

■変圧器の処理

4台中、うち1台は今年9月に登録。

- ・2024年度上期は2台を処理
- ・2024年度下期は2台を処理予定

■コンデンサーの処理

254台中、うち60台は今年上期に登録(下期も同数の60台を想定)

- ・2024年度上期は111台を処理
- ・2024年度下期は143台を処理予定

■廃PCB油の処理

全量今年登録されたもの

- ・2024年度上期は72kgを処理
- ・2024年度下期は0.5kgを処理予定

1. 2024年度上期の処理状況（水熱設備）

定期点検後、7月3日よりNo1系 1 基運転で安定操業中

表 水熱分解設備の稼働状況

設備等		2024年度						2024年度累計 実績(上期分) (日) ①	2024年度 上期計画 (日) ②	計画比 (%) ①/②
		実績								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
水熱設備 稼働日数	平均					※1		48	47	102
	1		定期点検 5/13-6/17				85	73	116	
	2	 ※2					10	20	50	
	3	※3						0	0	0

※1：7/3立上げ。

※2：4/17～定期点検に向け停止。

※3：休止

1. 2024年度上期の処理状況（変圧器）

■ 変圧器の処理

2024年度上期は計2台を処理

(2024年度下期は2台の処理を11月に予定)

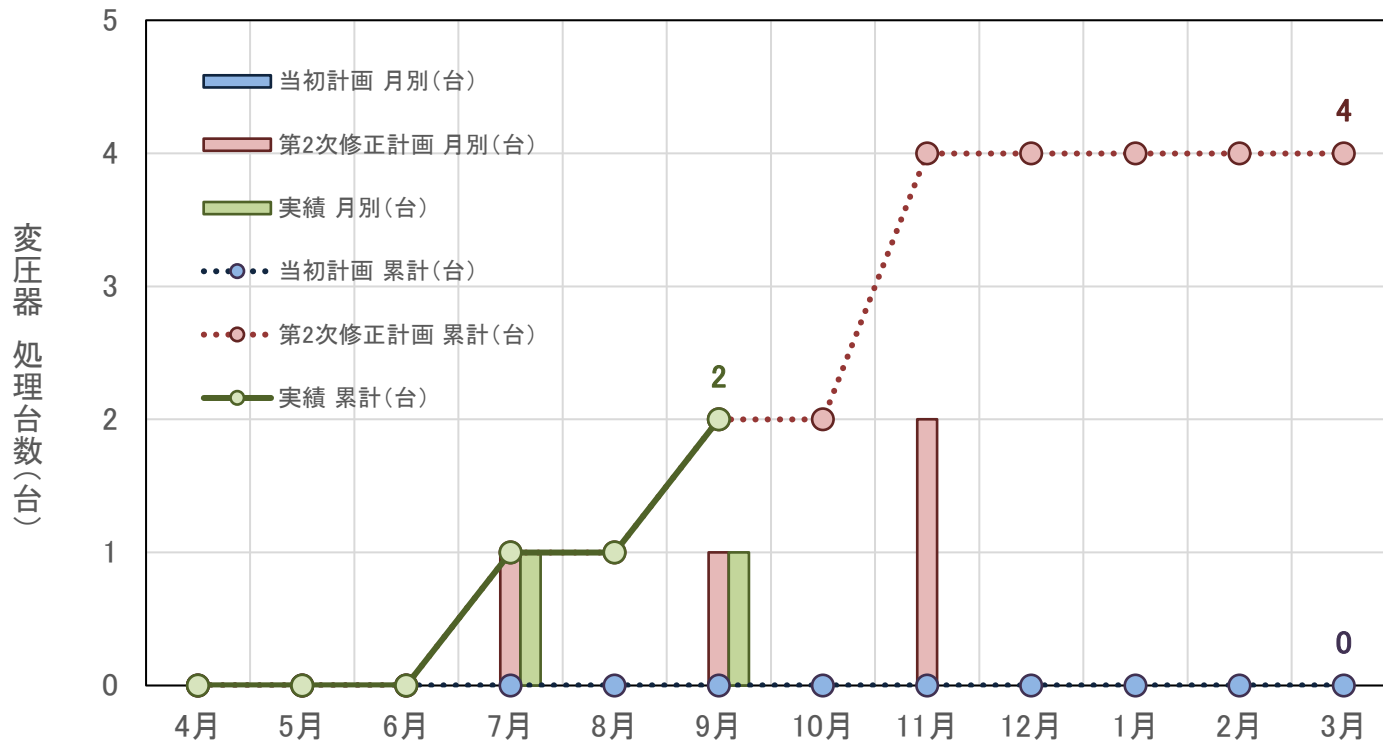


図 2024年度 変圧器の処理状況

1. 2024年度上期の処理状況（コンデンサー）

■ コンデンサーの処理

2024年度上期は111台を処理

(2024年度下期は計143台の処理を予定)

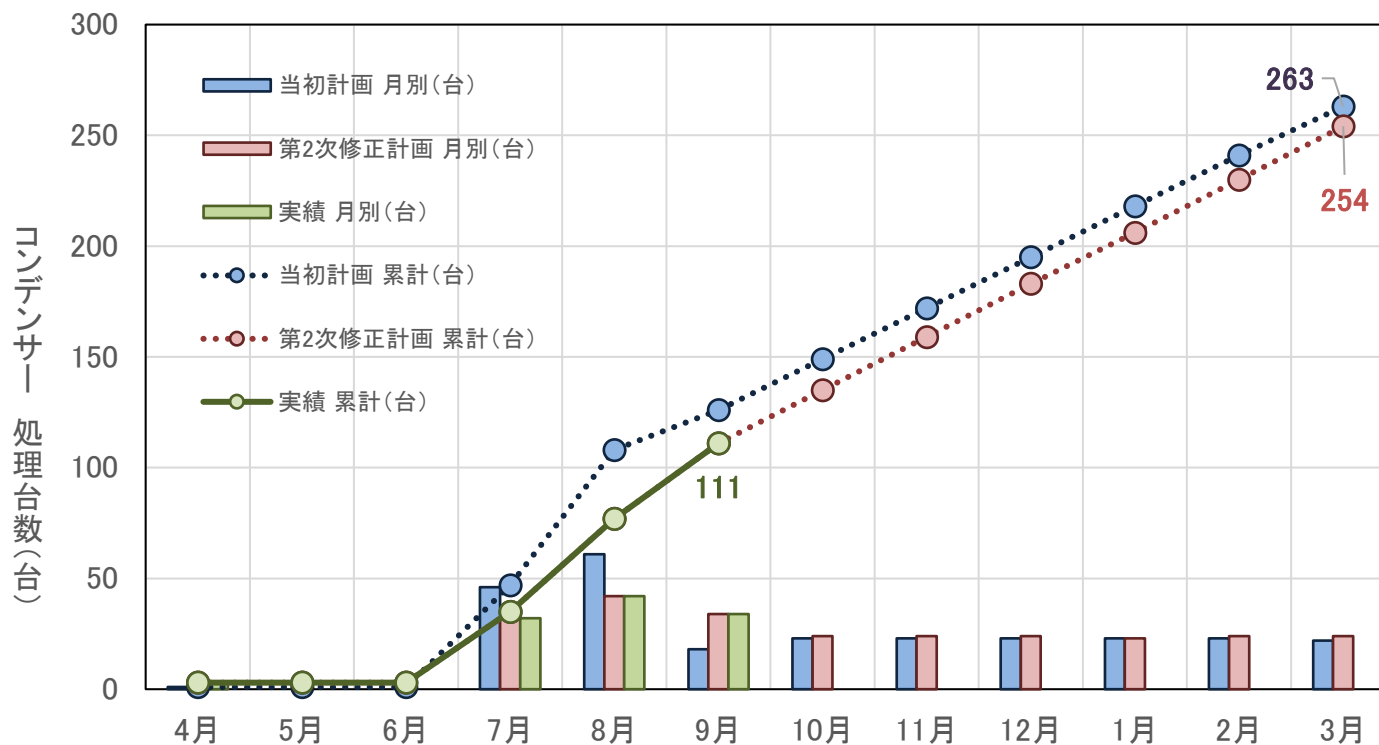


図 2024年度 コンデンサーの処理状況

1. 2024年度上期の処理状況（廃PCB油）

■ 廃PCB油の処理

2024年度上期は72kgを処理

(2024年度下期は0.5kgの処理を12月に予定)

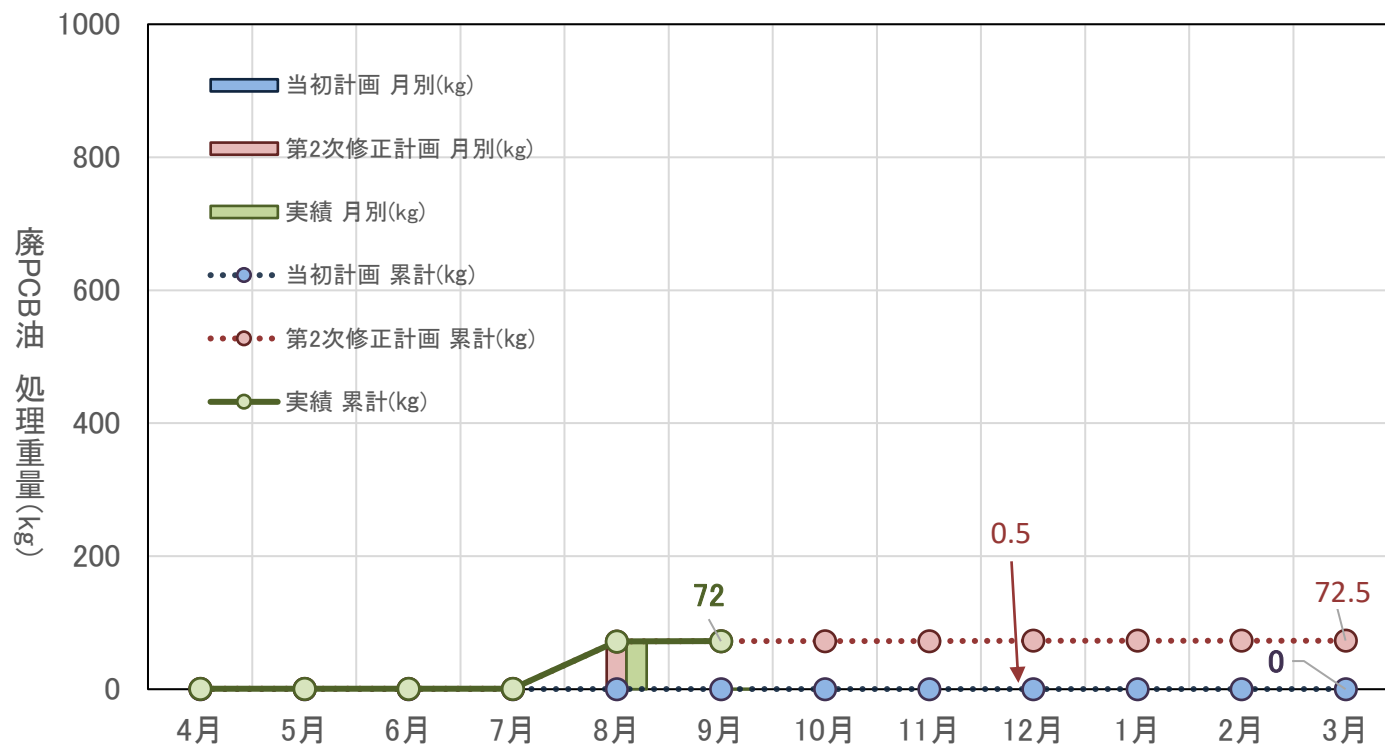


図 2024年度 廃PCB油の処理状況

2. これまでの処理実績と今後の処理計画（変圧器）

2024年度は計4台の処理を実施予定
 2024年度中に全対象量の処理が完了予定

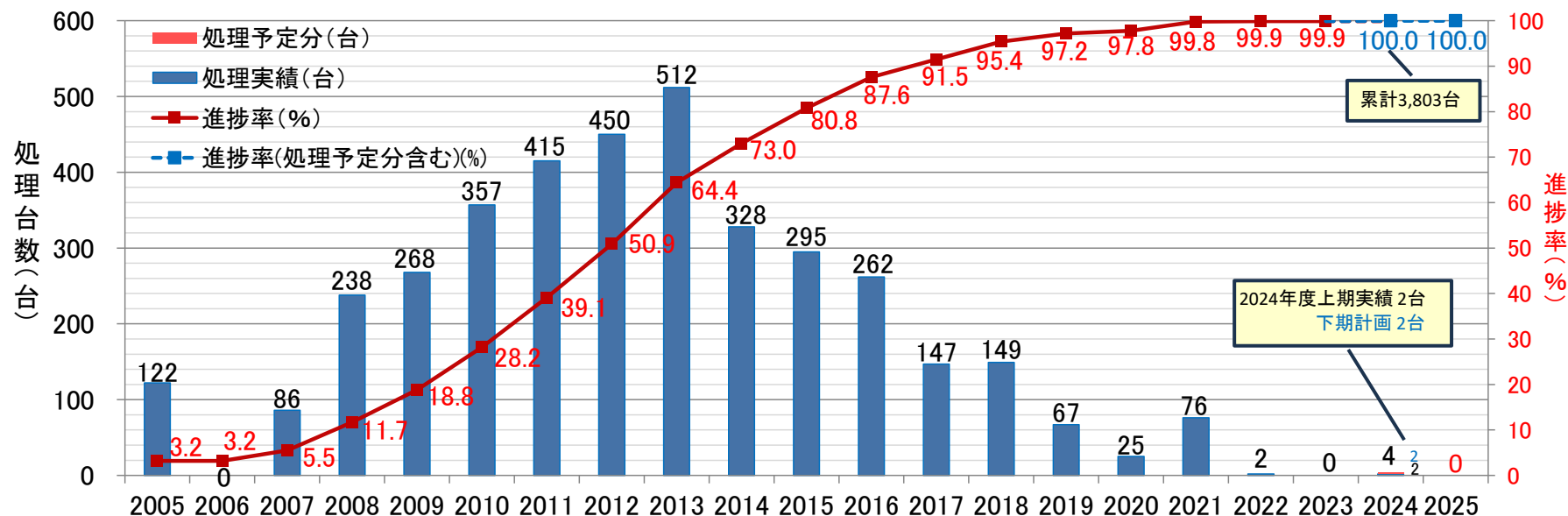


図 変圧器の操業開始時からの処理実績と今後の処理計画

2. これまでの処理実績と今後の処理計画（コンデンサー）

2024年度254台の処理を実施予定
 2025年度の新規登録量は251台の見込み
 事業終了準備期間は2025年度末まで。
 同年度までに全対象量の処理が完了予定

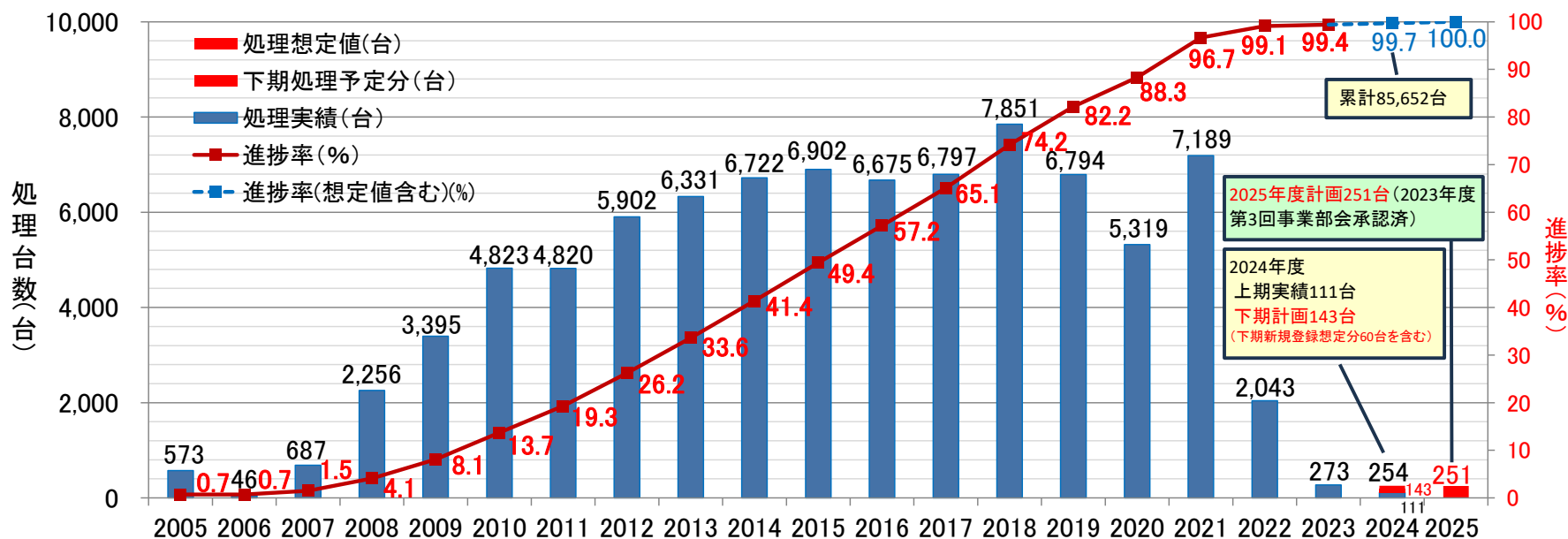


図 コンデンサーの操業開始時からの処理実績と今後の処理計画

2. これまでの処理実績と今後の処理計画（廃PCB油）

2024年度は72.5kgの処理を実施予定
 2024年度において全対象量の処理を実施予定
 全量は今年登録されたもの
 (図中のリン含有PCB油の処理は2022年度に完了済み)

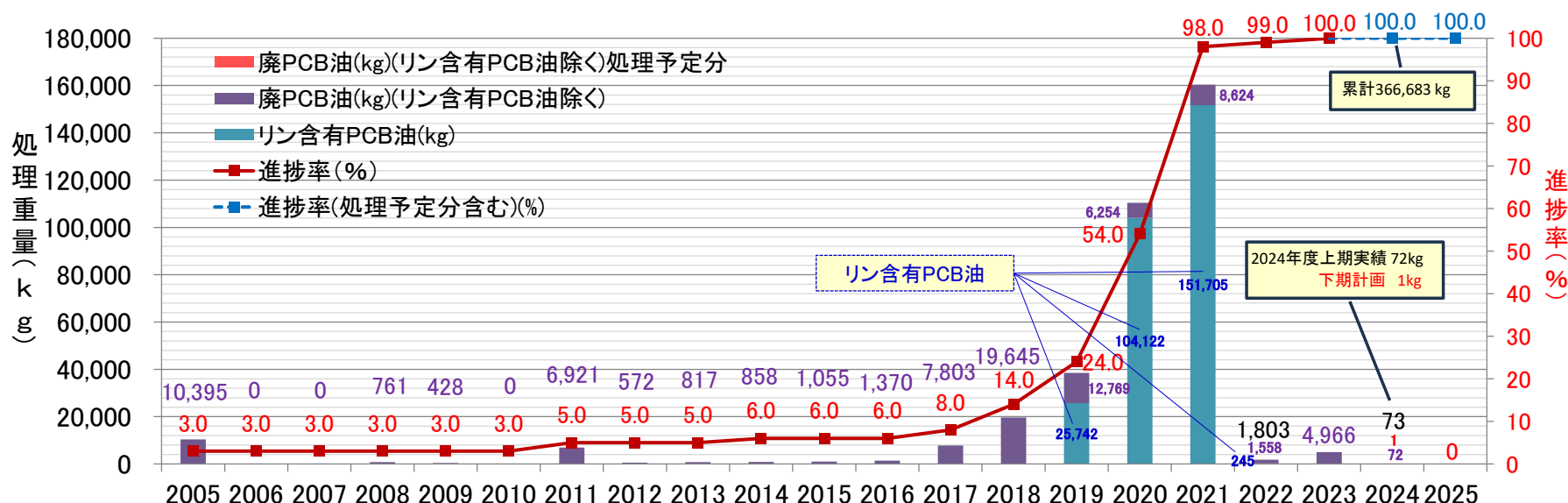


図 廃PCB油の操業開始時からの処理実績と今後の処理計画

2. これまでの処理実績と今後の処理計画（まとめ）

表 操業開始時からの処理状況

処理対象物		2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
変圧器	(台)	122	0	86	238	268	357	415	450	512	328	295	262
コンデンサー	(台)	573	46	687	2,256	3,395	4,823	4,820	5,902	6,331	6,722	6,902	6,675
廃PCB油	(kg)	10,395	0	0	761	428	0	6,921	572	817	858	1,055	1,370
リン含有PCB油	(kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃粉末活性炭	(kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,616	0

処理対象物		2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度9月迄	累計※1 ①	対象数量※2 ②	進捗率※3 (%) ①/②
変圧器	(台)	147	149	67	25	76	2	0	2	3,801	3,803	99.9
コンデンサー	(台)	6,797	7,851	6,794	5,319	7,189	2,043	273	111	85,509	85,903※2	99.5
廃PCB油	(kg)	7,803	19,645	12,769	6,254	8,624	1,558	4,966	72	84,868	84,869	100.0
リン含有PCB油	(kg)	-	-	25,742	104,122	151,705	245	0	0	281,814	281,814	100.0
廃粉末活性炭	(kg)	26,708	40,098	50,222	21,942	26,478	29,764	18,988	0	224,816	224,816	100.0

※1 累計は、操業開始から2024年度9月までの処理実績を示す。ただし、コンデンサーには、3kg未満の登録品(944台、今後は北海道事業所で安定器とともに処理)及び北九州事業所で処理することとなった6,925台は含まない。

※2 対象数量は、累計に今後2025年度までの予定数量を加えたもの。コンデンサーについては、2024年度上期までの処理実績に、2024年度下期処理予定83台及び下期登録想定値60台(今回策定した第二次修正計画の値)、さらに2025年度想定値251台(2024.2.29東京PCB処理事業部会で承認を得た当初計画の値)を加えたもの。

※3 進捗率は、対象数量に対する累計の割合。

3. PCB廃棄物の搬入・搬出

■ PCB廃棄物搬入車両の状況（1）

表 2024年度のPCB廃棄物搬入車両の台数

月	実績						予定						合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
搬入車両台数	5	3	4	9	7	0	4	8	4	0	4	4	52

表 年度別のPCB廃棄物搬入車両の台数の推移

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 9月迄	累計
搬入車両台数	87	22	135	374	430	526	644	845	731	807	872	821	833	798	696	662	925	227	103	28	10,566
保管者から	87	22	135	374	430	526	644	845	731	807	862	821	820	778	675	651	911	212	94	28	10,453
大阪事業所から	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	0	13	20	21	11	14	15	9	—	110
北九州事業所から	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	0	0	0	0	0	0	0	0	—	3

3. PCB廃棄物の搬入・搬出

■ PCB廃棄物搬入車両の状況 (2)

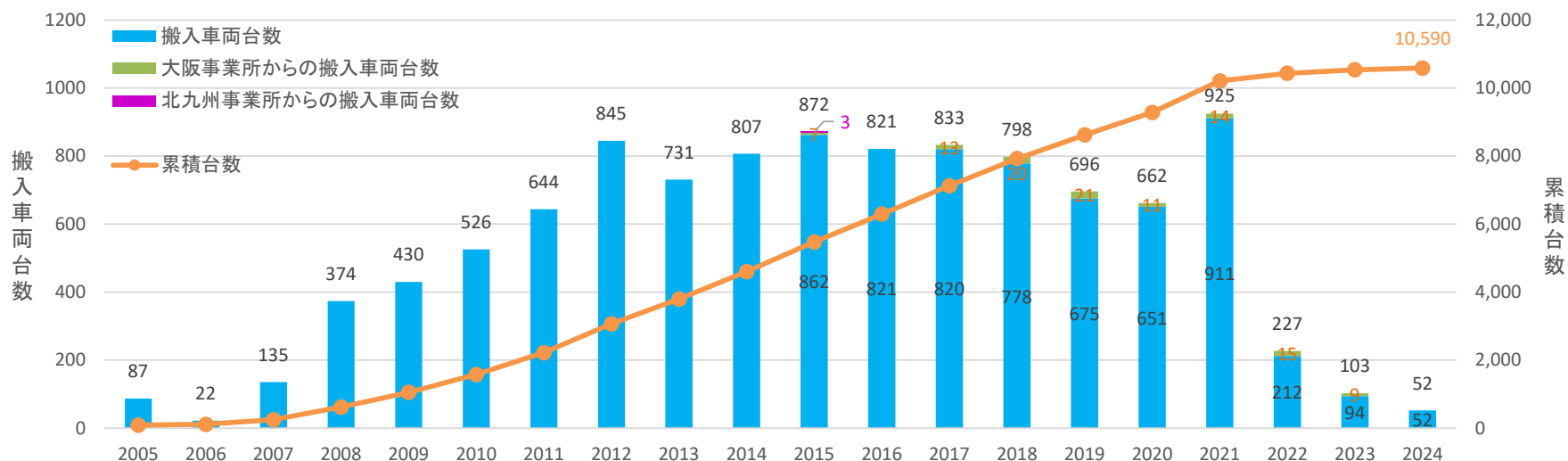


図 PCB廃棄物搬入車両の年度別台数の推移と累積台数

3. PCB廃棄物の搬入・搬出

■ 運転廃棄物・処理物（低濃度汚染物）の搬出実績と予定
 東京都及び江東区との間の取り決めの運用の範囲内(低濃度汚染物：月6台以下、月30t以下)で対応中

表 運転廃棄物・処理物の搬出実績(9月迄)と予定

月	実績						予定						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トラック台数(台)	0	2	1	2	3	2	3	2	2	4	4	2	27
運転廃棄物・処理物 搬出数量(t)※1	0.00	2.51	1.43	5.64	6.89	3.90	7.42	6.26	5.47	12.91	19.55	6.26	78.24

*1 容器は含まない

表 運転廃棄物・処理物（低濃度汚染物）の年度別搬出実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
運転廃棄物/処理物 搬出重量*1 (t)	-	-	-	-	-	-	-	-	216.6	363.1

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 9月迄	累計
運転廃棄物/処理物 搬出重量*1 (t)	354.9	292.4	234.7	184.5	203.9	353.2	495.1	184.5	132.0	20.4	3035.3

*1 2012年8月に廃棄物処理法に基づく無害化処理認定制度の対象に低濃度汚染物が加わったことから、2013年度より無害化処理認定施設への搬出を開始している

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

- 施設からの排気・換気や排水及び敷地境界の大気や雨水については定期的に測定を行い、処理状況とともに、東京都及び江東区へ毎月報告している。

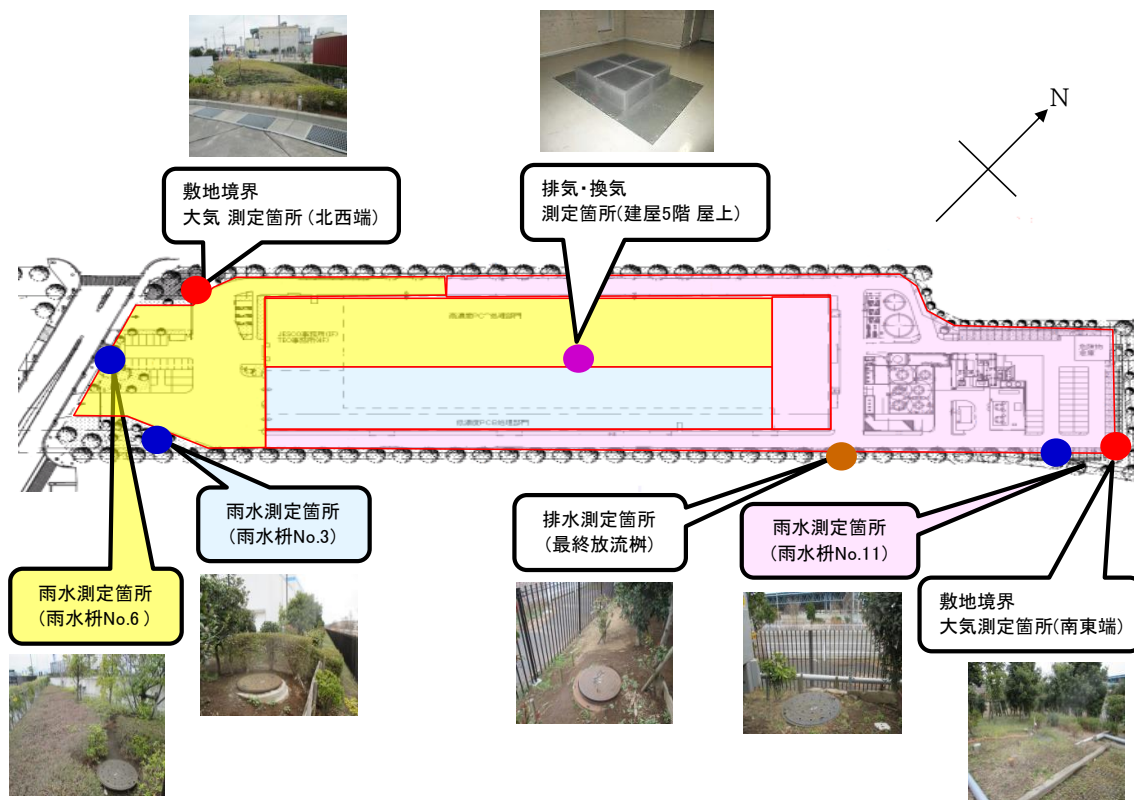


図 敷地境界大気質及び雨水排水枡の測定位置

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング

排気・換気

すべて環境保全協定値を下回り、良好な状態を維持している。

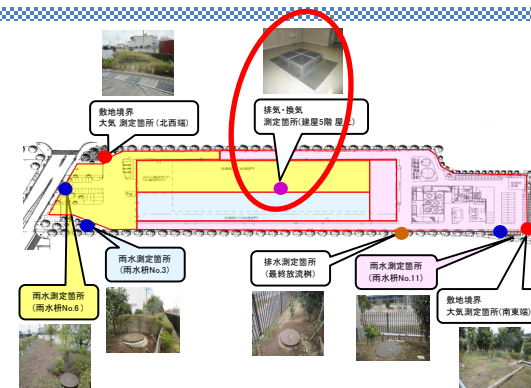


表 排気・換気の測定結果

測定場所	測定項目	単位	測定結果		環境保全協定値	測定頻度
			2023年度	2024年度上期		
排気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満～0.00070	0.0005未満	0.01以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.0026～0.042	0.0013～0.0026	100以下	年4回 ¹⁾
	IPA	ppm	0.1未満	0.3	40以下	年2回 ²⁾
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満～0.00070	0.0005未満	0.01以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.22～0.86	0.16～0.26	100以下	年4回 ¹⁾
換気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満～0.00064	0.00009～0.00015	0.001以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.032～0.16	0.011～0.13	5以下	年4回 ¹⁾
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満～0.00019	0.00008～0.00011	0.001以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.028～0.22	0.011～0.028	5以下	年4回 ¹⁾

1) DXNsは、協定の年間2回に対し、自主測定も含め年4回(4月,7月,10月,1月)実施している。PCBは、協定の年間4回に対し、自主測定も含め毎月実施している。

2) IPAは、協定で年間2回(7月,1月)実施している。

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング

排水

すべて環境保全協定値を下回り、良好な状態を維持している。

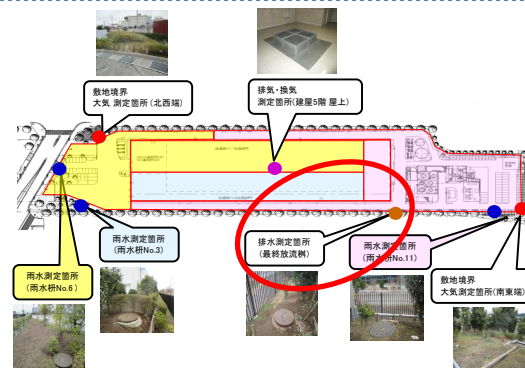


表 排水の測定結果

測定項目	単位	測定結果		環境保全協定値等	測定頻度
		2023年度	2024年度上期		
PCB	mg/ℓ	0.0005未満	0.0005未満	0.0015以下	月1回 ¹⁾
pH	—	7.8～8.4	7.8～8.4	5を超え9未満	月1回 ³⁾
n-Hex抽出物質	mg/ℓ	1未満	1未満	5以下	月1回 ³⁾
BOD	mg/ℓ	0.5未満～4.6	0.5未満～3.5	600未満	月1回 ³⁾
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	1～7	1未満～4	600未満	月1回 ³⁾
N(全窒素)	mg/ℓ	3.5～6.7	3.4～7.0	120未満	月1回 ³⁾
DXNs	pg-TEQ/ℓ	0.020～2.5	0.038～0.69	5以下	年2回 ²⁾
Zn(亜鉛)	mg/ℓ	0.05未満～0.20	0.05未満～0.16	2以下	月1回 ³⁾
P(リン)	mg/ℓ	0.06未満～0.15	0.038	16未満	月1回 ³⁾

1) PCBは、協定で年間4回であるが、毎月実施している。

2) DXNsは、協定で年間2回(7月,1月)実施している。

3) その他の測定項目は、自主測定として毎月実施している。

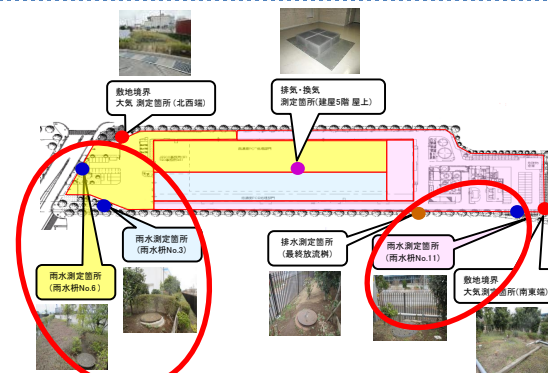
4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング

雨水（PCB、ダイオキシン類）

いずれも自主管理目標値(環境保全協定値)を下回っていた。

夏に濃度が高い傾向にあるため、引き続き注視していく。



No.3とNo.6の2ヶ所

表 雨水のPCBとDXN s の測定結果

測定箇所	測定項目	単位	測定日	測定結果	参考指標	測定頻度 ¹⁾
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.011	5以下	年2回
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.010	5以下	年2回
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.7.23	0.0005未満	0.0015以下	年2回
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.7.23	0.35	5以下	年2回

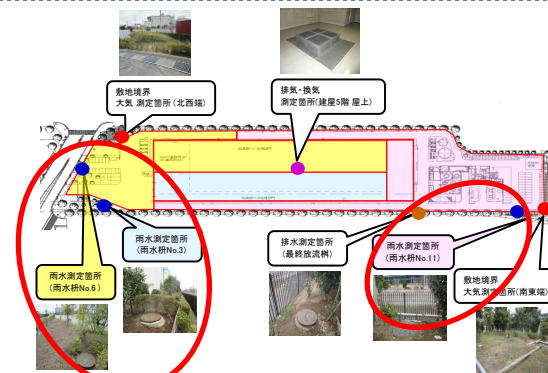
1) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、自主測定を含め年2回実施している。

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 排出源モニタリング

雨水（PCB、ダイオキシン類）

いずれも自主管理目標値(環境保全協定値)を下回っていた。
夏に濃度が高い傾向にあるため、引き続き注視していく。



No.3とNo.6の2ヶ所

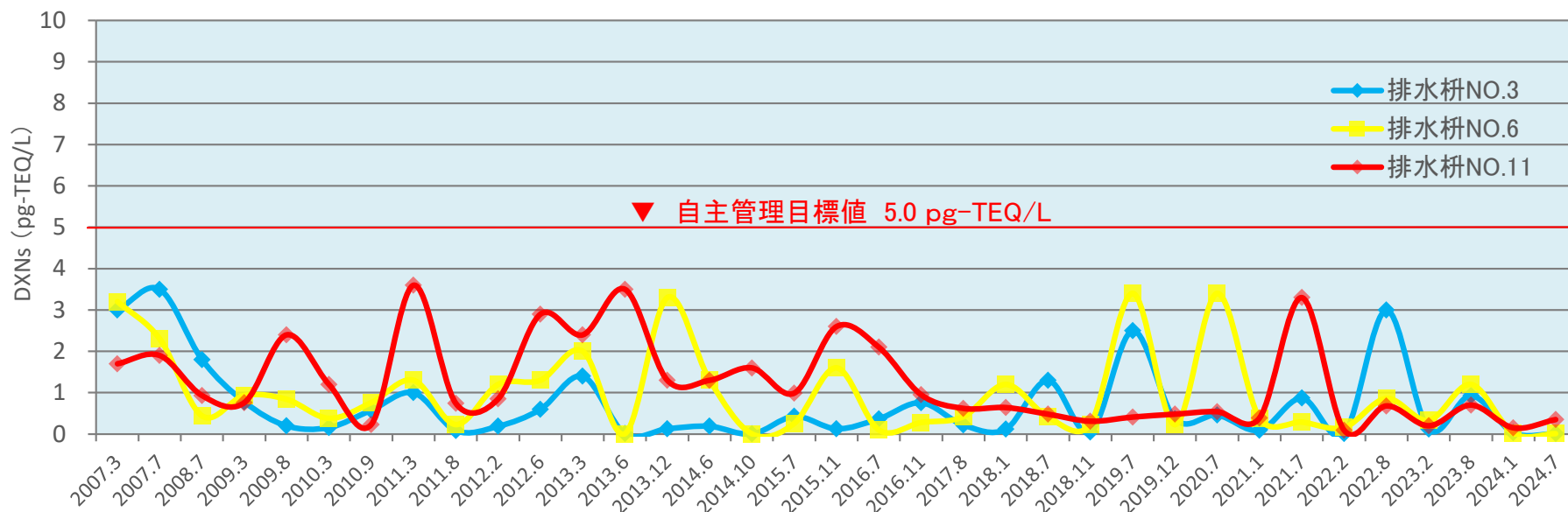


図 雨水のダイオキシン測定結果の推移

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 周辺環境モニタリング

敷地境界の大気質（PCB）

すべて定量下限未満で、管理指標としている
暫定濃度を下回っている。

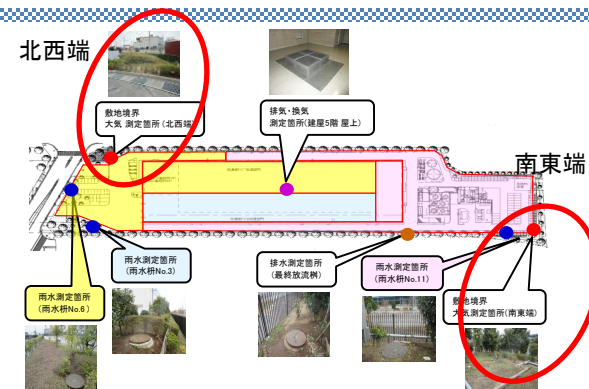


表 敷地境界の大気測定結果（PCB）

測定項目	測定箇所	測定日 ¹⁾	測定結果	風向	参考指標 ²⁾	測定頻度
PCB mg/m ³	南東端	2023.10.4～11	0.00005未満	北	0.0005 以下	年4回
		2024.1.18～25	0.00005未満	北		
		2024.4.10～17	0.00005未満	南南西		
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		
	北西端	2023.10.4～11	0.00005未満	北	0.0005 以下	年4回
		2024.1.18～25	0.00005未満	北		
		2024.4.10～17	0.00005未満	南南西		
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		

1) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

2) 参考指標は環境庁大気保全局長通達(昭和47年環大気141号)に基づく。

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 敷地境界の大気質（ダイオキシン類）

下表に示すように、直近4季(2024/1～10月)の年平均では環境基準値(参考指標)以下であった。周辺環境の影響により主風向が南の夏季に高い傾向は継続しているが、本年10月の秋季測定では、0.76～1.0pg-TEQ/m³と更に高い値であった。

表 敷地境界の大気測定結果（DXNs）

測定項目	測定箇所	測定日 ¹⁾	測定結果	風向	年平均値	参考指標	測定頻度
DXNs pg-TEQ/m ³	南東端	2024.1.18～25	0.018	北	0.264	年平均 0.6以下	年4回
		2024.4.10～17	0.066	南南西			
		2024.7.16～23	0.21	南			
		2024.10.2～9	0.76	北東・南南西			
	北西端	2024.1.18～25	0.023	北	0.388	年平均 0.6以下	年4回
		2024.4.10～17	0.16	南南西			
		2024.7.16～23	0.37	南			
		2024.10.2～9	1.0	北東・南南西			

1) 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

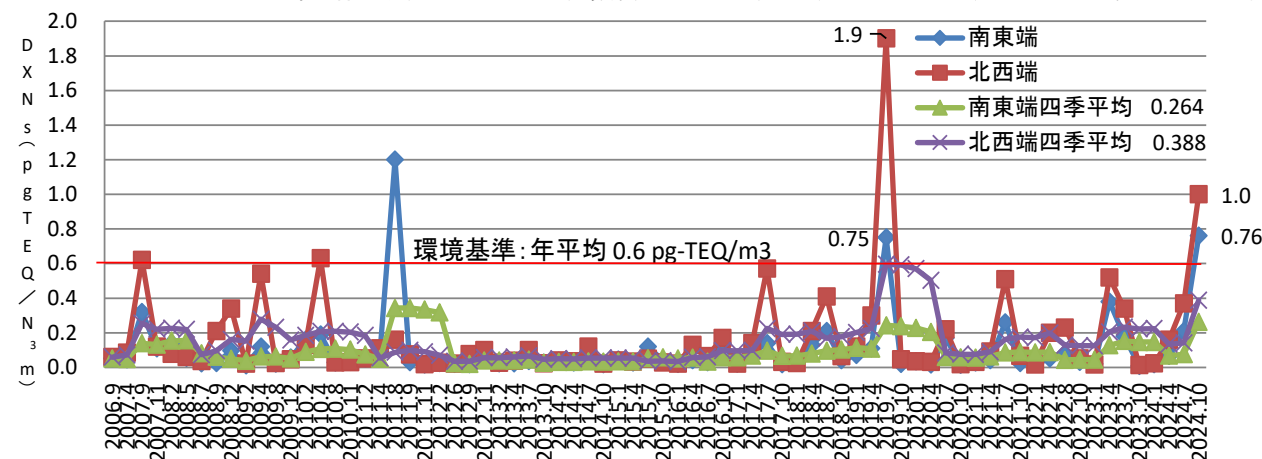
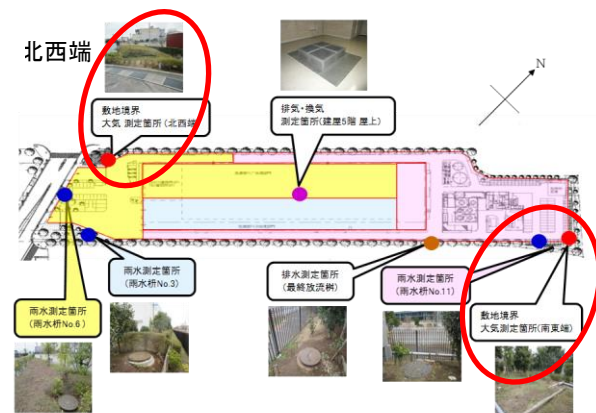


図 敷地境界の大気測定結果(DXNs)の推移



4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

モニタリング時の各主要設備の稼働状況を表にまとめる。

表 主要設備の操業と先行解体撤去工事※1の状況

設備名		定常作業時 (10/2～10/9)	再測定時 (10/30～11/6)
○操業関係			
	水熱・洗浄	計画停止	通常稼働
	加熱設備、換気設備等	通常稼働	通常稼働
○解体撤去関係			
	安定器等処理設備	除去分別作業	除去分別作業
	コンデンサー解体設備	洗浄作業	洗浄作業
	廃粉末活性炭スラリー化設備	作業なし	除去分別作業

※1: 先行解体撤去工事: 安定器等処理設備、コンデンサー解体設備、廃粉末活性炭スラリー化設備

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 先行解体撤去工事に係る作業の実施状況

- モニタリング期間における先行解体撤去に係る作業の実施状況は、下表のとおりである。
- 10月の秋季測定時では、安定器等処理設備の除去分別作業及びコンデンサー解体設備の洗浄作業を実施していた。この期間に敷地境界でのダイオキシン類濃度が高い値を示した。

表 モニタリング期間における解体撤去に係る作業の実施状況

対象設備	作業内容	2024年度							
		4	5	6	7	8	9	10	11
安定器等処理設備	PCB除去分別			2023年12月～2024年12月(予定)					
コンデンサー解体設備	洗浄				2024年5月～12月(予定)				
廃粉末活性炭スラリー化設備	洗浄				2024年7月～9月				
	PCB除去分別						2024年11月～2025年1月(予定)		
測定月	排出源モニタリング	○□◇			○□◇			○□◇	
	周辺環境モニタリング	●■			●■			●■	

凡例

 PCB除去分別 (2024年度11月までのPCB除去分別作業の期間を示す。)

 洗浄 (2024年度11月までの洗浄作業の期間を示す。)

排出源モニタリング ; 排気・換気:○、排水:□、雨水:◇
周辺環境モニタリング ; PCB:●、DXNs:■

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 敷地境界の大気質（ダイオキシン類）

- 10/2～10/9の秋季測定結果が高い値であったことから、10/30～11/6に確認のための追加測定を実施した。その結果を下表に示す。南東端及び北西端ともに0.11pg-TEQ/m³であり、例年並みであった。
- 10/2～10/9測定では南寄りの風(平均風速3.7m)が約30%で、例年*1より高い出現頻度であつが、10/30～11/6測定では約15%で例年*1並みであった。(*1;過去10年の秋季測定では、南寄りの風が25%以上は2回のみ)
- 敷地境界のダイオキシン類は、南風のときに周辺施設の影響で高い濃度が観測*2される傾向があり、10/2～10/9測定でもこの状況で高い濃度になったと考えられる。追加測定では、南風が減少し、例年並みの濃度に低下したと想定される。(*2;東京PCB処理事業所における下水道への放流水の下水排除基準・協定値超過に係る発生原因と再発防止対策(2019/9/27、東京事業部会承認))
- 主風向が南寄りの夏季の測定結果を引き続き注視していくとともに、今後は他の季節でも風向に留意しつつ、監視を継続していく。

表 敷地境界の大気質（DXNs）の10月測定時及び追加測定時の濃度と風向速の状況

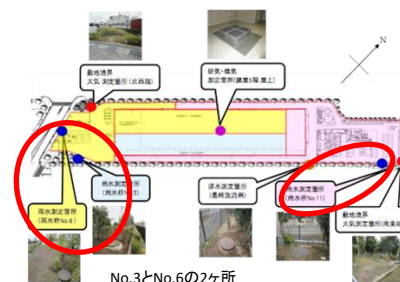
測定期間 2024年	DXNs(pg-TEQ/m ³)		風向別出現頻度 (%)	風向別平均風速 (m/秒)
	南東端	北西端		
10/2～10/9	0.76	1.0		
10/30～ 11/6 (追加測定)	0.11	0.11		

4. 操業及び解体撤去作業中の 排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング

■ 雨水（PCB、ダイオキシン類）

排出源モニタリングにおける雨水の測定値は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準を満足している。

N03雨水枡の2024年10月7日の結果は、操業時の対比データと比べても高い値であった。



No.3とNo.6の2ヶ所

表 雨水のPCBとDXNsの測定結果

測定箇所	測定項目	単位	測定日 ¹⁾	測定結果	参考指標	2024年度の測定回数 ³⁾
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.57	5以下	年4回
			2024.7.23	0.011		
			2024.10.7	3.1		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.012～3.0		
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.015	5以下	年4回
			2024.7.23	0.010		
			2024.10.7	0.71		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.16～3.4		
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.22	5以下	年4回
			2024.7.23	0.35		
			2024.10.7	0.77		
			(2020年度～2022年度) ²⁾	0.090～3.3		

5. 作業者の安全対策への取り組み状況

■ 作業環境の維持・向上

JESCO及び運転会社は、協同でPDCAを回しながら、作業環境の維持・向上に取り組んでいる。

- ◆労働安全衛生法に基づく年2回（夏季、冬季）に、PCBを取り扱う作業場1箇所「除染室」を対象に作業環境測定を行っている。
- ◆法定測定結果は同法に基づく第1管理区分であり、良好な状態を維持している。

5. 作業者の安全対策への取り組み状況

■ 血液中PCB濃度の測定に基づく作業者の健康管理

- ◆ 作業従事者の血液中PCB濃度の基準値 25ng/g-血液 以下
⇒ 毎年8月の定期健診時に測定：超過者なし
- ◆ 東京事業所の自主管理目標値：10ng/g-血液以下
⇒ 全作業従事者が目標達成
- ◆ 過去の自主管理目標超過者への対応
自主管理目標値以下に低減するまで、PCB暴露がない作業への配置換え、作業制限等の個別 フォローを実施

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

- 作業員個々の危険予知の感性向上のため、出来るだけ多くのヒヤリハット報告を呼びかけ、2024年上期は194件が提出された。活発な活動を継続している。
- 改善提案の提出を作業員に促すことで、作業安全の向上を図っており、処理量が減少しても更なる改善に継続して取り組んでいる。

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

表 ヒヤリハット活動の報告件数

項目	年度																						
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024年度(9月まで)	4月	5月	6月
IV重大 (15点以上)	-	-	-	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III問題あり (10～14点)	-	-	-	6	6	16	18	19	10	9	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II多少問題あり (6～9点)	-	-	-	54	77	99	122	188	144	138	225	168	265	295	238	135	34	11	9	1	0	0	0
I殆ど問題なし (3～5点)	-	-	-	189	153	163	208	250	394	569	506	503	392	426	513	700	657	745	561	32	37	40	24
合計	-	23	263	249	236	278	349	457	553	716	732	673	659	721	751	835	691	756	570	33	37	40	24
体験ヒヤリ	-	20	207	179	167	185	150	111	135	104	44	53	29	78	87	57	22	10	9	1	0	0	0
想定ヒヤリ	-	3	56	70	69	93	199	346	418	612	688	620	630	643	664	778	669	746	561	32	37	40	24
累計																				194	7,120	8,056	

1) 2005年7月「ヒヤリハット報告・事故、災害防止要領」制定し、2006年度より運用開始。
 2) 2006～2007年度はリスクレベル分類基準が現行と異なるので総数のみ記載とした。

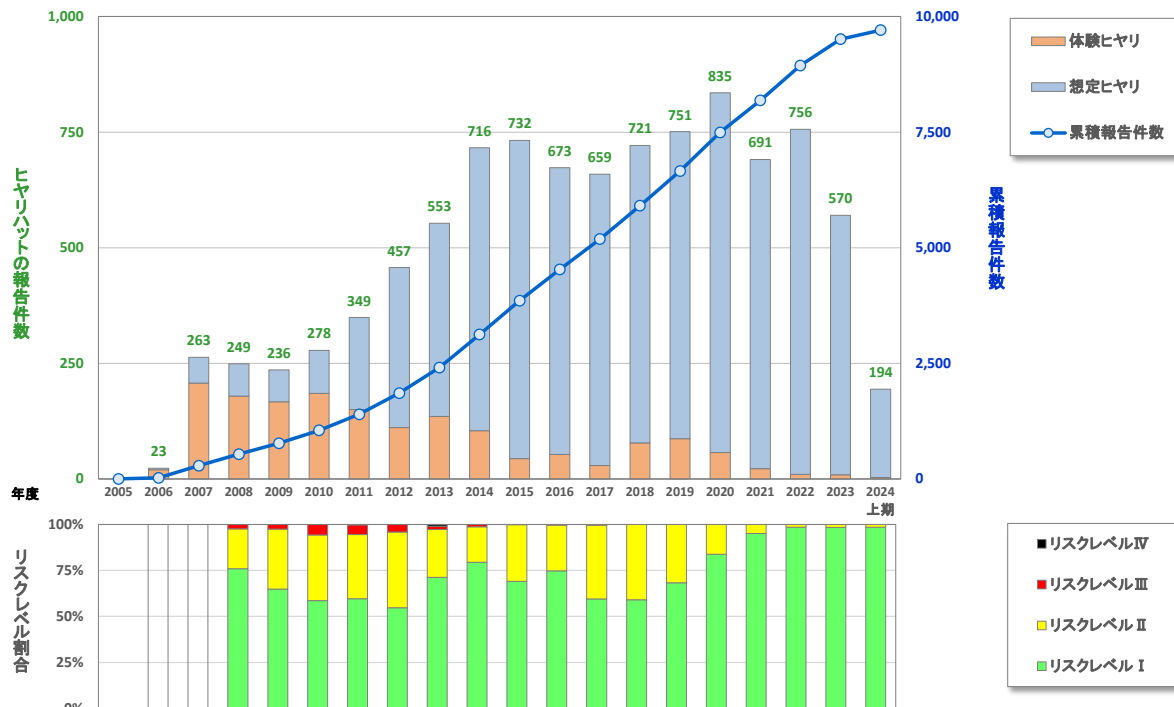


図 ヒヤリハット活動の報告件数

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

表 改善提案の件数

効果	年度																				2024年度(9月まで)						累計 ¹⁾
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2024*1	
提案件数	-	-	-	183	263	118	132	116	108	76	67	88	79	71	57	74	62	66	50	6	6	4	5	6	4	31	1,641
安全性・信頼性向上	-	-	-	140	210	87	86	77	75	60	61	79	59	45	37	39	26	33	29	0	0	1	0	2	2	5	1,148
作業性・業務効率化	-	-	-	144	209	78	97	74	77	42	57	49	47	50	32	30	22	36	24	1	3	1	1	1	1	8	1,076
コストダウン	-	-	-	11	21	8	9	8	9	5	1	1	0	2	1	4	0	10	0	1	0	0	0	0	0	1	91
作業環境改善	-	-	-	25	110	46	49	32	23	21	10	12	10	8	8	18	7	18	19	5	6	3	4	3	1	22	438
その他	-	-	-	5	11	4	2	2	1	2	2	6	3	2	2	8	27	20	3	0	0	0	0	0	0	0	100
合計	-	-	-	325	561	223	243	193	185	130	131	147	119	107	80	99	82	117	75	7	9	5	5	6	4	36	2,853

1) 効果区分は複数該当するものもあるため合計は提案件数を超えている。

2) 2008年1月「改善提案実施要領」制定し、2008年度より運用開始。

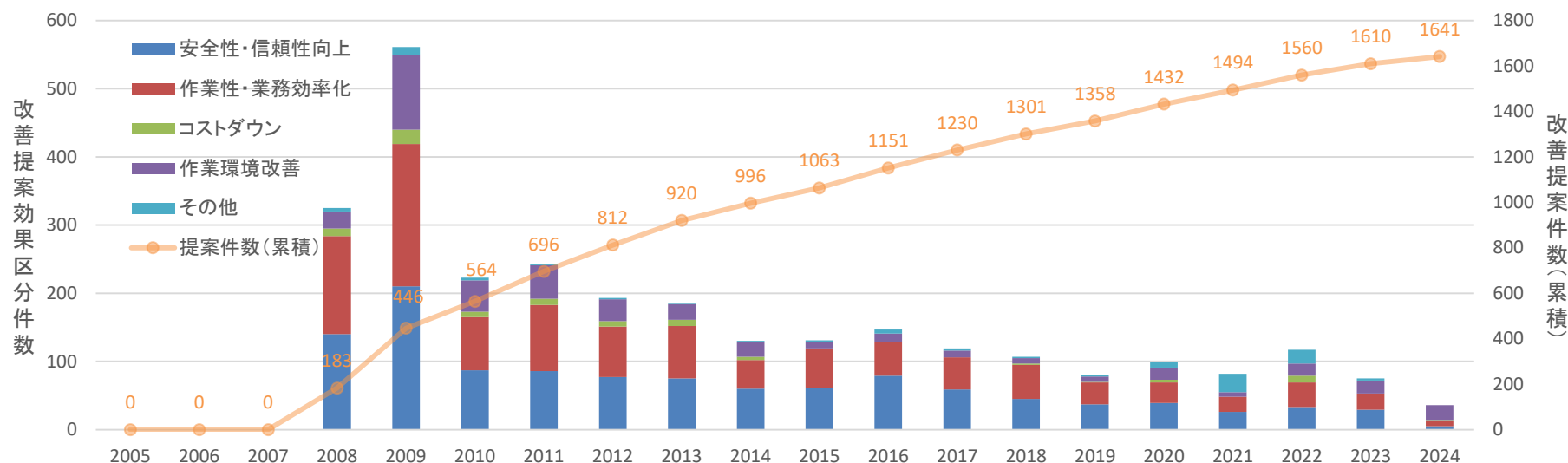


図 改善提案降格分別の件数と改善提案の累積件数

7. 教育・訓練等の実施状況

■ 安全教育・訓練の実施状況

- ◆ 全員が受講する教育訓練・研修の他、職種、経験、職長、担当者等に応じた研修カリキュラムにより、年間を通じて計画的に教育訓練を行っている。
- ◆ 2024年度上期に実施した安全教育・訓練は31件で、延べ1,389名が受講した。また、定期点検期間を活用して、安全衛生関連の特別教育等を実施した。



ハーネスによる救助訓練(5/23)



産業医による熱中症講話(6/15)

7. 教育・訓練等の実施状況

■ 総合防災訓練等の実施

◆ 総合防災訓練

- 毎年、深川消防署と連携して、総合防災訓練を実施
- 11月20日に、東京都ご視察の下で実施
- 地震発生・漏洩・火災を想定し、避難、自衛防災体制による初期消火、深川消防署の消火活動支援を実地訓練

◆ 緊急時通報訓練

- 夜間・休祭日の運転会社体制時（JESCO不在）における緊急事態発生を想定した、JESCO社員及び運転会社上長への情報連絡訓練
- 年3回計画し、2回実施(4月18日、9月24日)し、3回目を12月下旬に予定

8. 施設見学の状況

◆ 2024年度上期は、7月に2件23名の見学者

表 施設の見学件数と見学者数の月別実績

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 ¹⁾
件数(件)	0	0	0	2	0	0							2
見学者数(名)	0	0	0	23	0	0							23

1) 2024年9月末までの実績

表 施設の見学件数と見学者数の年度別実績

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024 ¹⁾	累計 ¹⁾
件数(件)	65	85	130	143	147	114	69	90	92	69	68	90	78	44	36	0	4	13	6	2	1,343
見学者数(名)	1,048	1,310	1,938	1,669	1,578	1,292	596	823	1,235	665	861	813	816	540	513	0	13	142	120	23	15,972

1) 2024年9月末までの実績

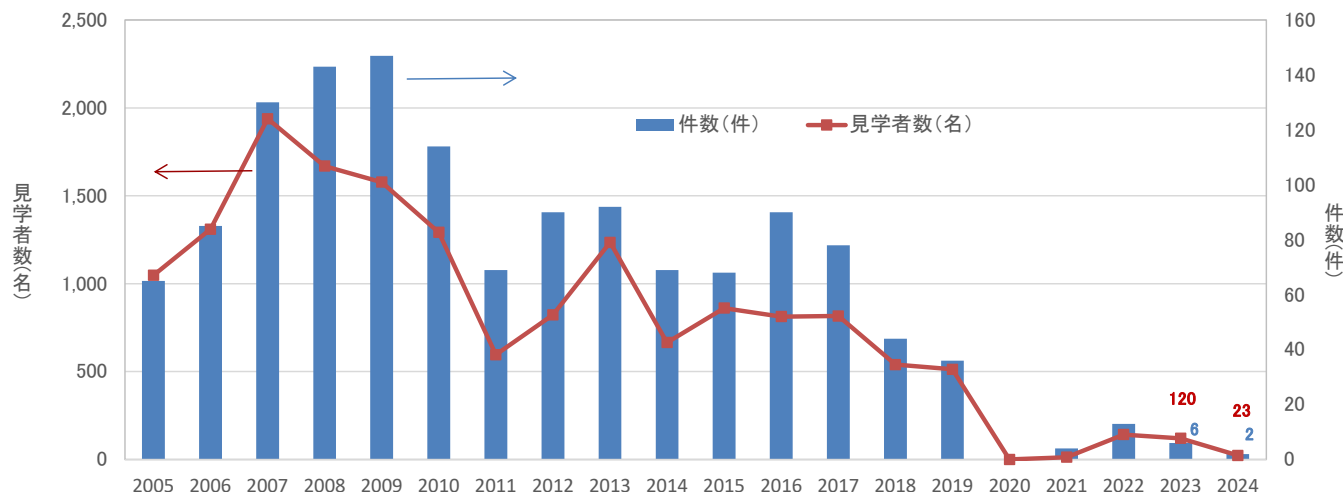


図 施設の見学件数と見学者数

9. 設備保全の実施状況及び予定

■ 2024年度の実施状況及び予定

「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」に基づく、事業終了準備期間の2024年度の主な設備保全の実施状況及び予定は、以下の通りである。

- ◆ 洗浄設備では、防油堤(オイルパン)のシール部の点検を実施・完了。
- ◆ 排水処理設備では、ダイオキシン対策の一貫として、活性炭交換及び排水貯槽、清掃を実施・完了。
- ◆ 特高・高圧受電設備では、特高受変電設備の機器を構成する電装部材の一部について更新を実施。残りについては2025年度及び2026年度の定期点検時に更新を実施予定